政策評価(平成16年度 事後の事業評価)

番号	項目名	政策評価担当組織の評価	政策所管課
1	基幹連隊指揮統制システム	本事業は、野外コンピュータネットワークを構築し、火力・機動の指揮・統制を迅速・正確に行うために使用する指揮統制システムを開発するものである。本事業により、コンピュータネットワーク制御技術、センサ情報等の統合支援技術及び民生品活用時の実装化技術が確立しシステムの技術的課題が解明されたことで、今後の指揮統制システムの装備化に資するものと評価できる。	管理局 開発計画課
2	地上レーダ装置(改)	本事業は、現有地上レーダの後継として、主として地上における移動目標を中距離及び短距離から監視するために使用する新地上レーダ装置を開発するものである。本事業により、多目標追尾技術、目標類別支援技術及び小型・軽量化技術が確立されたことにより、迅速・正確に敵情を把握する装備が実現できたものと評価できる。	管理局 開発計画課
3	新通信電子妨害システム	本事業は、電波発射性能の向上を図り、無線通信等の生起する電波環境下で使用する新通信電子妨害システムを開発するものである。本事業により、電波発射性能の向上が技術的に確認できたことから、無線通信等の生起する電波環境下において効果的に電波発射し得るシステムが実現できたものと評価できる。	管理局 開発計画課
4	師団通信システム(改善)	本事業は、現有師団通信システムの民生品活用による取得価格の低減と接続性の向上を図るためのフォローアップを行うものである。本事業により、野外で迅速に通信網を構成する技術や通信経路障害時の自動迂回接続技術等が確立されるとともに、既装備品及び民生品の活用のための技術的課題が解明され、システムの取得価格の低減と接続性の向上の見通しを得たことで、今後の師団通信システムの装備化に資するものと評価できる。	管理局 開発計画課
5	外装型FLIR装置	本事業は、航空機に搭載し、夜間や悪視程及び電子戦環境下における航法能力の向上を図る赤外線先方監視(FLIR)装置を開発するものである。本事業により、識別性能、追尾、測距機能等の技術を確立し外装型FLIR装置の技術的課題が解明されたことにより、夜間や悪視程及び電子戦環境下における航法能力の向上が図れるものと評価できる。	管理局 開発計画課
6	地雷探知・処理技術の研究	本事業は、地雷探知・処理作業を安全、確実、迅速及び省力化が可能となる地雷探知・処理システム技術に関する技術資料を得るため研究を行ったものである。 本事業により、地雷探知性能の向上及び一連の地雷処理手順の自動化を確実に進めることが確認でき、地雷探知・処理技術の向上に資する技術資料を得ることができたものと評価できる。	管理局 開発計画課
7	エアブリージングエンジンの研究	本事業は、エアブリージングエンジン(空気を吸入し燃焼させ推力を発生させるエンジン)を将来の誘導弾や無人機等の推進装置に採用するための技術資料を得るため、研究を行ったものである。本事業により、機械的な空気の圧縮機構を持たないラムジェットと、流入する空気を圧縮するターボ圧縮機を持つターボジェットを複合させたエアターボラムエンジンに関する技術を取得し、将来の誘導弾及び無人機の推進装置の性能向上に資する技術資料を得ることができたと評価できる。	管理局 開発計画課

政策評価(平成16年度 事後の事業評価)

番号	項目名	政策評価担当組織の評価	政策所管課
8	コンフォーマル・レーダ・システムの研究	本事業は、先進的な航空機搭載レーダ技術について、レーダの探知覆域を拡大させるとともに、同時探索・追尾の多目標化及び高分解能化により、火器管制能力及び偵察能力の向上等を実現する技術資料を得るため、研究を行ったものである。本事業により、航空機の外形形状に合わせ造る曲面形状のレーダであるコンフォーマル・レーダ・システム実現のための検証等を行い、覆域の拡大と同時多目標の搜索・追尾等の先進的要素技術を確認し、航空機搭載レーダの火器管制能力及び偵察能力の向上に資する技術資料を得ることができたと評価できる。	管理局 開発計画課
9	光波電子戦シミュレーション技術の研究	本事業は、各種光波システム(赤外線探知器等)の解析・評価に必要な光波電子戦シミュレーション技術について、その基盤技術の確立に必要な赤外線実環境模擬実験装置(実際の戦闘場面における赤外線画像を模擬できるシミュレータ)に関する技術資料を得るため、研究を行ったものである。本事業により、赤外線実環境模擬実験装置に必要な赤外線動画像高精度表示技術、各種目標のモデリング技術等を確立し、光波システムの性能評価に要する多大な負荷(時間・空間・労力・費用)を軽減することが可能な技術資料を得ることができたと評価できる。	管理局 開発計画課
11	新型普通爆弾の研究	本事業は、対空火器の射程外から投弾でき、高威力ながら高い安全性を有する爆弾に関する技術資料を得るため、新たな普通爆弾の研究を行ったものである。本事業により、搭載する航空機から安全に分離でき、安定した滑空を可能とする空力設計技術や高威力で安全性を有する弾薬技術等が確立し、今後の滑空型誘導爆弾開発のために有効な技術資料を得ることができたと評価できる。	管理局 開発計画課
12	饗庭野演習場周辺障害防止対策事業(庄界川改修工)	本事業は、饗庭野演習場における機甲車両その他重車両のひん繁な使用等に起因する洪水被害を防止・軽減するために、環境整備法に基づき、滋賀県が行う庄界川改修工事に対し、その費用の一部を補助したものである。本事業の実施により、障害の防止・軽減が図られ、関係住民の生活の安定及び福祉の向上に寄与することとなり、防衛施設の安定的使用に資するものと評価できる。	防衛施設庁 施設対策課
13-1	横須賀海軍施設管理棟(司令部)整備事業	本事業は、横須賀海軍施設に所在する米海軍の施設が、老朽化及び分散配置のため効率的な業務が行えない状況にあることに鑑み、日米地位協定に基づき、部隊の管理及び運用業務を行う施設を整備したものである。本事業の実施により、部隊の業務の効率化が図られることによって日米安全保障体制の信頼性の向上に寄与するものと評価できる。	防衛施設庁 提供施設課
13-2	キャンプ瑞慶覧管理棟(物品)整備事業	本事業は、キャンプ瑞慶覧に所在する米海兵隊の施設が、狭隘かつ老朽化及び分散配置のため効率的な業務が行えない状況にあることに鑑み、日米地位協定に基づき、物品や資材の管理・調達業務を行う施設を整備したものである。本事業の実施により、部隊の業務の効率化が図られることによって日米安全保障体制の信頼性の向上に寄与するものと評価できる。	防衛施設庁 提供施設課

政策評価(平成16年度 事後の事業評価)

番号	項目名	政策評価担当組織の評価	政策所管課
14	新短距離空対空誘導弾(XAAM - 5)	<p>本事業は、性能向上が予想される将来の脅威戦闘機との空対空戦闘において、自衛隊の航空機が有効に対処することを可能とする新たな空対空誘導弾を開発したものである。本事業により、現有の空対空誘導弾に比し高応答誘導制御技術、高性能検知・識別技術、高対妨害性技術を向上させたことにより、将来の脅威戦闘機側の高機動化、目標信号強度の低下、電子妨害等技術の向上、誘導弾の性能向上に有効に対処することが可能となり、目視可能距離内での自衛隊の航空機の近接戦闘能力が一段と向上するものと評価できる。</p>	<p>管理局 開発計画課</p>
15	76mm砲用新近接信管	<p>本事業は、護衛艦等に搭載する76mm砲に用いる93式62口径対空弾薬包と組み合わせ、高感度で、かつ、弾丸と目標との相対速度に応じ、その目標に対し最適な位置で作動する新近接信管を開発したものである。本事業の実施により、目標速度に対応した近接信管技術(高感度目標検知技術、近接作動位置最適化技術、電子部品の小型化技術)の確立により超音速対艦ミサイルへの対処が可能となるとともに、シークラッタ抑圧技術の確立により、シースキミングミサイルへの対処能力も向上されたものと評価できる。</p>	<p>管理局 開発計画課</p>